

## 第1回淡路ビジョン座談会～しゃべってみらんか～結果概要

日 時：令和4年5月28日（土）14：00～16：15

場 所：洲本総合庁舎3階会議室

参加者：13名

### 内 容

#### （1）自己紹介

#### （2）基調講演

「移住者から島民となって～地域おこし協力隊で来た淡路島に残したいもの～」

講師：第9・10期ビジョン委員 北原 聖子 さん

- ・第1期淡路市地域おこし協力隊として地域の様々な行事に顔を出し、地域イベントを企画し、人脈を広げた。
- ・任期終了後、淡路島へ移住し、島内企業へ就職する傍ら、協力隊時代のネットワークを生かして交流活動を継続
- ・淡路島の魅力に気づき、ふだんのくらしを大切にしたいと考えている。

#### （3）座談会 「島民と移住者とのつながりづくり」

- ・最近、次々と企業が誘致されてきているが、いつ出ていくかわからない。賑やかになったのはいいが、すぐ抜けてしまうと意味がないので、これからどうするか考えなければならない。地域住民との関係性を大事にして、定住につなげていく活動をしていきたいと思っている。
- ・外から見る淡路島と、中から見た淡路島は違う。高校卒業後、進学や就職で一旦淡路島を出たら帰ってこない人が多いので、淡路島に帰ってくる人を増やすための対策が必要。
- ・淡路島は閉鎖的、封建的な人間関係が多いと感じる。何かのきっかけをつかんで、我々の年代を通じて若い人が淡路を知ってもらって、淡路に来てもらいたい。
- ・移住者との関わりについて考える中で、島民の意識がもっと開かれた関係にならなければいけないと感じる。島民個々の人間力の向上が必要。

- ・ 移住者・島民という差別化をするのではなく、淡路島で暮らしているひとは皆島民という感覚を持つことが重要。
- ・ 近所との付き合い方について、こちらから声をかけるということも重要なものかもしれないが、反応が来ない人もいる。
- ・ 町内会入会を誘っても入らない人も多く、対応が難しい。町内会に入ってくれないと、地域や近所とのつながりを作れないのではないかと感じる。
- ・ 誘致された企業を「(株)〇〇」という色分けをせずに、交流や話し合いができればいいのではないか。

